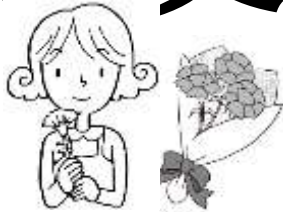


保健便り NO.5

保護者用



平成30年5月8日 平戸市立山田小学校
文責 眞辺 成子

今、全国的に麻疹（はしか）が拡がり、ニュースでも話題になっていますね。私の小さい頃は、麻疹にかかる人は多かったように記憶していますが、国が麻疹排除を目標に取り組んだおかげで、最近では麻疹の流行はめっきり少なくなっていました。今回は、今話題の麻疹（はしか）について載せています。

病原体	麻疹ウイルス。人にだけ感染します。	
潜伏期間	8～12日程度 合併症をおこさなければ7～10日間くらいで回復します。	
症状	8～12日間位の潜伏期間を経て発症し、38℃台の発熱が2～4日続き、咳やくしゃみ、鼻水といった上気道炎症状と結膜の充血などの結膜炎症状が現れます。 発疹の出る1～2日前頃に、口腔内（頬粘膜）に麻疹の特徴である白い小さな斑点のコプリック斑が出ます。 この熱が下がり始めた後、再び39℃以上の高熱が出て、麻疹特有の発疹が現れます。赤い発疹は、耳や首の後ろ、額の部分から始まり、翌日には顔や体、腕にも出て、2日後には全身に広がります。	
感染経路	感染力が大変強く、空気感染、飛沫感染、接触感染などの様々な経路で感染します。	
予防対策	ワクチン接種が基本です。麻疹、風疹の2種混合性生ワクチン（MR ワクチン）として2回接種となっています。1回目（第1期接種）を1歳児に、2回目（第2期接種）を小学校入学前の1年間に接種します。	
出席停止	発疹に伴う発熱が解熱した後、3日を過ぎるまで出席停止となります。	

ワクチン接種



1回目は1歳児になったら接種



2回目は小学校入学前に接種

参考文献：学校の感染症対策 岡田晴恵 著